

災害時保健の手引書

支援者向け
「ポイント集」
陸前高田を例に

東日本大震災関連の
保健、医療、心のケア
などをめぐる著書は数
多いが、陸前高田市で
の保健活動のエッセン
スが織り込まれた和田
耕治・岩室紳也編「保
健・医療従事者が被災
者と自分を守るための
ポイント集」は、災害
初期から支援者に読み
継がれている「隠れた
名著」だ。

第1章「地震や津波
などの災害に関する基
本的知識」に始まる5
章構成。公衆衛生対応
のあり方、ボランティア
との連携、放射線、
心のケア、感染症対策、

田市入りし、編者の岩
室さん（地域医療振興
協会ヘルスプロモーシ
ョン研究センター長）
と共に同市の保健医療
福祉体制の再構築に尽
力している。

第4章「これから支
援に入る方に伝えたい
こと」で、佐々木さん
は「自己完結と重層的
な仕組みで『現場のた
めになる』支援を」と
題し執筆。同市の包括
ケア会議で優れたコー
ディネート能力を発揮
している「亮平さん」
ならではのバランス感
覚、現場スタッフへの
配慮に満ちた提言だ。

執筆者の一人の佐々
木亮平さん（日本赤十
字秋田看護大助教、元
大船渡保健所保健師）
は「自己完結と重層的
な仕組みで『現場のた
めになる』支援を」と



和田耕治・岩室紳也編「保健
・医療従事者が被災者と自分
を守るためのポイント集」

る公衆衛生の視点の大
切さ、保健師の担う役
割の大きさ、とかく注
目される「心のケア」も
地域保健活動との連携
によって十二分に力を
発揮することもまた、
本書から理解される。
中外医学社刊、18
90円。印税のすべて
は「あしなが育英会」
に寄付される。